

3章 - ② 避難所^{なん}で私たちができること

(1) 避難所にはどのような人がいるか考えよう

1.自分の考え	2.友だちや先生の考えを聞いてつけ加えるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者 ・乳幼児 ・妊婦 ・外国人 ・障がいがある人 	<p>【障がいの種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい ・視覚障がい など

※上記の内容は一例でございます。

(2) (1)で記入した人たちはどのようなことに困るのか考えよう

(1)であげた人の中からグループで一つ決める

1.自分の考え	2.同じグループの友だちの考えで参考となるもの
<p>3.他のグループの発表を聞いて参考となるもの</p> <p>(それぞれの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者: 立ち座りが困難、足腰が悪く移動が大変 ・乳幼児: 授乳スペースやオムツ交換の場所がない、遊ぶ場所がない、泣き声が迷惑にならないか不安 ・妊婦: 床に座ると体が冷える、重いものが持てない ・外国人: 日本語だと十分に理解できない ・聴覚障がい者: 音声だけの案内では気づけない、障がい者だと気づいてもらいにくい ・視覚障がい者: 文字だけの案内では気づけない、床に物が置かれていると転倒する恐れがある ・車いすの方: 段差がある場所は通れない、トイレが不便 	

※上記の内容は一例でございます。

(3) (2)の人たちに対してあなたができることは何か考えよう

1.自分の考え	2.同じグループの友だちの考えで参考となるもの
3.他のグループの発表を聞いて参考となるもの	
<p>(それぞれの例)</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者:イスを用意する、なるべく出入口に近い位置に場所を取る・乳幼児:授乳室やオムツ交換室を作る、一緒に遊んであげる、乳幼児が遊べる専用の部屋を作る・妊婦:イスや毛布を用意する、重い物は運ぶお手伝いをする・外国人:英語に訳した張り紙を貼る、外国人専用の案内窓口を作る・聴覚障がい者:必ず文字でも案内する、聴覚障害だとわかるマークを作り希望者に渡す・視覚障がい者:必ず音声でも案内する、床に物を置かないよう周知する、定期的に巡回する・車いすの方:板などを使って段差をなくす、介助のお手伝いをする	

※上記の内容は一例でございます。

(4) 今日の学習で気付いたこと、学んだことを書こう

(記載例) 避難者にはさまざまな年齢や国籍の方や障がいのある方が来るのだと気づきました。
人それぞれ困っていることや大変なことが違うと知れたので、その人が何に困っているのか、
どうすれば解決できるのか、自分なりに考えて行動したいと思いました。
大変なときだからこそ、相手の立場に立って物事を考えられるようになりたいです。
また、自分にできることは積極的に取り組んでいきたいと思いました。